

【治水】8) サナルダムは天塩川本川にほとんど効果がなく、むしろ本川のピーク流量を増やすおそれがある。

サナルダムは堤防の整備や河道の掘削等の河川整備とあいまって、洪水を調節することにより、ダム下流の名寄川及び名寄川合流後の天塩川に治水効果を発揮する施設です。

国内の大河川で一般的に用いられている手法により計算した結果、サナルダムは図-2 に示すように、基準点菅平で目標流量としている $4,400\text{m}^3/\text{s}$ に対して、岩尾内ダムと合わせて $500\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節の効果があります。また、名寄川の基準点である真敷別地点では、サナルダムにより $300\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節効果があります。このように、サナルダムは天塩川本川及び名寄川の双方に洪水調節機能があり、その結果は図-1 に示すように縦断的に水位低減効果を発揮します。

なお、過去の主要洪水において、サナルダムの効果を確認しており、サナルダムを建設することによって、ダム下流河川のピーク流量を引き上げることはありません。

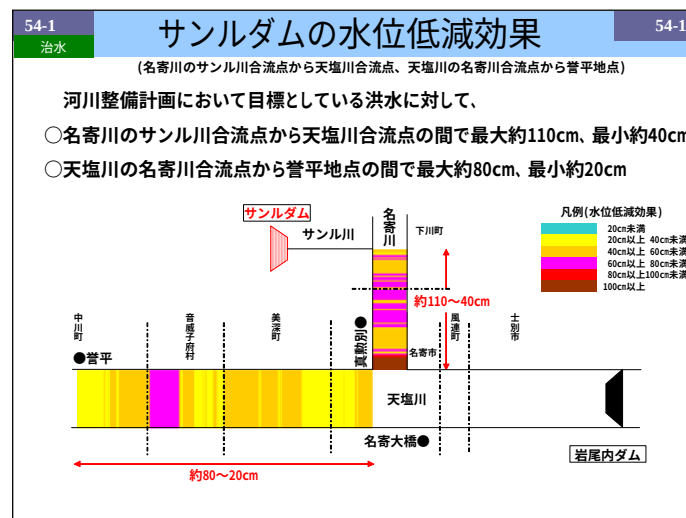


図-1